

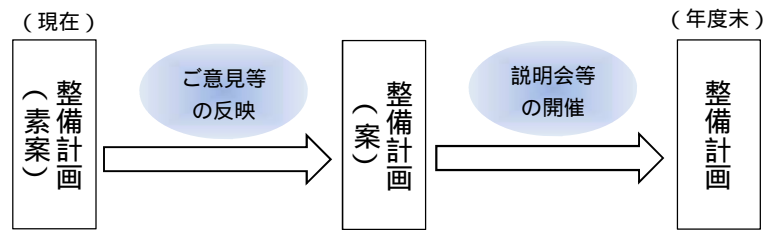
## 整備事例

ゆとりのある車道や歩道の設置による歩行者の安全確保、防災機能の向上、バリアフリー化、植樹帯や街路樹による沿道の緑化、通過車両の円滑化による地域の交通状況の改善など様々な効果が期待されます。



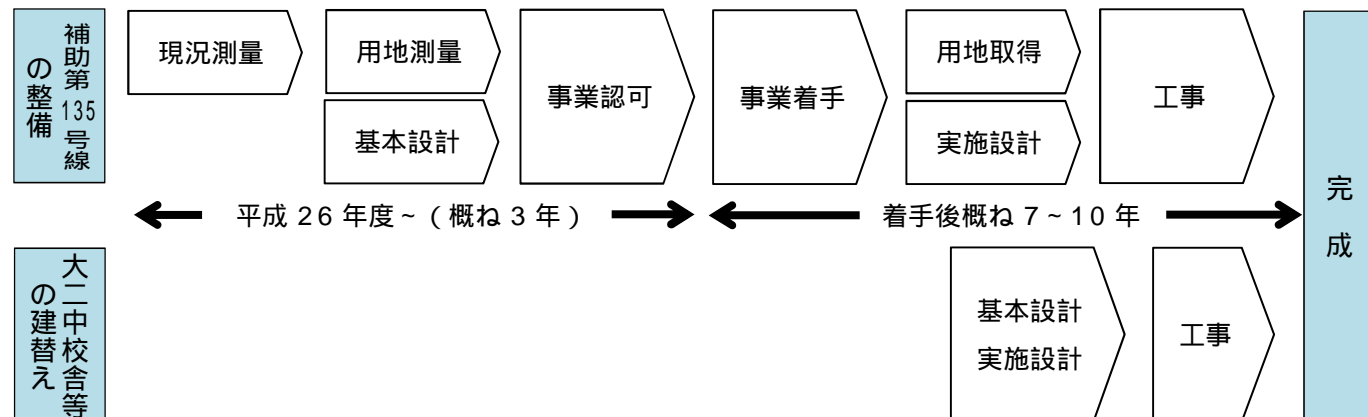
## 25年度の予定

皆さまから寄せいただいたご意見等を踏まえ整備計画(案)として取りまとめ、今年度末を目途に整備計画を策定する予定です。



## 事業の流れ

補助第135号線および大二中の校舎等の建替えについての事業の流れは、概ね以下のとおりです。今後も事業の進捗に合わせて、適宜、地域の皆さまへ情報提供に努めていきます。



お問い合わせ先

この通信に関するお問い合わせは、下記までお寄せください。  
 〒176-8501 練馬区環境まちづくり事業本部土木部計画課計画係 (担当) 前田・大野  
 TEL: 03-5984-2073 (直通) FAX: 03-5984-1237  
 E-Mail: D-KEIKAKU02@city.nerima.tokyo.jp

## 大泉学園駅南側

平成25年12月

# みちづくり・まちづくり通信 Vol.6

発行 練馬区環境まちづくり事業本部土木部計画課

この通信は、都市計画道路補助第135号線等の整備に向けて、東大泉5丁目の一部、6丁目の全域、石神井台6丁目の全域に区の取り組み状況をお知らせするため、平成17年から配布しています。

## 補助第135号線について、検討の経過および整備計画(素案)に関するオープンハウス<sup>(1)</sup>を開催します。

区では、大泉学園駅南側における交通課題の改善等のため、都市計画道路補助第135号線等の整備に向けた検討を進めてきました。補助第135号線は、区西部地域において南北交通を担うとともに大泉学園駅を中心とした人や物の流れを円滑化し、安全で安心なまちを実現するためにも必要な道路です。

区は、これまで補助第135号線の整備と、都市計画線上に位置している大泉第二中学校(以下、「大二中」という。)の教育環境確保について様々な検討を行ってきました。

このたび、これらの両立を実現させるため、大二中の校舎等を現在の学校敷地で建替えることを基本とし、補助第135号線の大泉学園駅南側から富士街道までの区間を優先的に整備することとした道路の整備計画(素案)を策定したので、地域の皆さまにお知らせいたします。

## オープンハウスの開催日時等

### 【日時】

平成25年12月13日(金) 16:00~21:00  
 平成25年12月14日(土) 10:00~16:00  
 平成25年12月15日(日) 10:00~16:00  
 別途、大二中保護者の方を対象とした説明会を予定しています。

### 【場所】

区立勤労福祉会館 2階 会議室  
 (住所: 練馬区東大泉五丁目40番36号  
 行き方: 西武池袋線「大泉学園駅」南口徒歩3分  
 西武・関東バス「大泉学園南口バス停」徒歩3分)

### 【案内図】



### 【内容】

道路の整備計画(素案)のほか、都市計画道路計画線内に係る関係権利者の方への用地等に関する一般的な補償内容など事業全般に関してご説明します。

オープンハウスとは...

オープンハウスは、関係権利者や地域の皆さまに、素案の内容や整備イメージについてパネルやイラスト等を使って職員が個別にご説明するとともに、ご意見をいただく場です。

上記の開催時間のうち、ご都合の良い時間にお越しください。



## 大泉学園駅南側の地域の現状と課題

補助第135号線は、昭和22年に都市計画決定し、補助第232号線は、昭和初期の計画を踏襲する形で昭和41年に都市計画決定しました。両路線の一部区間は、「区における都市計画道路の整備方針」(東京都・特別区)において、平成16～27年度で優先的に整備すべき路線に位置付けられています。

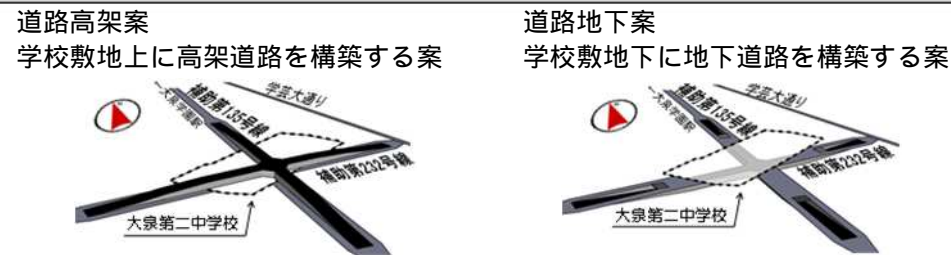
現在、大泉学園駅南側の地域では、補助第135号線が未整備であるため学芸大通りの交通渋滞やバスの定時性確保、ロードふじみへの通過交通の流入による歩行者の安全確保など交通環境の改善が課題となっています。幹線道路の整備の遅れは、円滑な交通の流れを阻害するだけでなく、災害時には緊急車両の通行の妨げにもなり、安全・安心なまちを実現するうえで支障になっています。

一方、大二中は当時の事情により現在の位置に昭和32年に開校しました。道路整備を進めるうえでは、大二中の教育環境の確保が大きな課題となっています。区では、道路整備と大二中の教育環境の確保という2つの課題を解決するため、様々な検討を行ってきました。



## これまでの区での取り組み(大二中付近に関する検討)

### (1)道路の構造の検討



### (2)大二中移転の検討

学区内において、大二中の移転先を確保する案

### (3)現在の敷地における校舎等建替えの検討

大二中の校舎等を現在の敷地で建替え、補助第135号線を平面構造で整備する案



運動場面積をより広く確保するためには、補助第135号線を優先的に整備することが望ましい。

### 練馬区長期計画後期実施計画で都市計画道路の整備計画区間を変更

(変更前) 補助135号線(西武池袋線南側～補助第232号線交差点部) 補助232号線(学芸大通り～補助135号線交差点部) (変更後) 補助135号線(西武池袋線南側～富士街道)

### (4)人工地盤を活用した検討

大二中の一体的な利用を可能とするため、補助第135号線の上部のみに人工地盤を構築する案と運動場部分も人工地盤とする案の2案



(上図は、運動場部分も人工地盤とする案)

### (結論)

道路高架案および道路地下案のいずれも側道が必要となり、道路を整備する範囲が現在の計画よりも大幅に広がること、交差点処理に課題があること等の理由から**実施困難**と判断しました。

現時点で移転先が確保できないことから**実施困難**と判断しました。

用途地域変更による校舎建替えは可能ですが**学校敷地は二分割**となります。道路整備と教育環境確保の両立のためには、さらなる**検討が必要**と考えました。

運動場部分も人工地盤とする案は、道路整備と教育環境確保の両立が可能ですが、周辺宅地への圧迫感や施工性および経済性において**課題が残ります**。

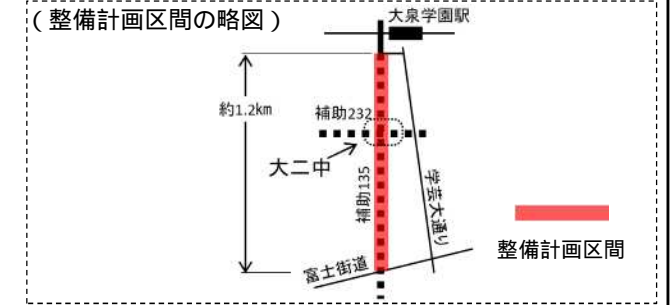
## 整備に向けた区の素案

これまでの区での取り組み結果を受け、人工地盤を活用した検討のうち、補助第135号線の上部のみに人工地盤を構築する案を採用し、整備に向けた区の素案を以下のとおりにしました。

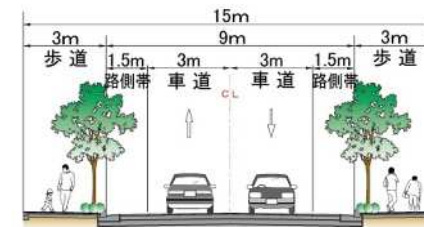
周辺道路の混雑緩和を図るとともに、大二中の教育環境を確保するため、補助第135号線の大泉学園駅南側から富士街道までの区間を優先的に整備します。歩道と車道を分離しみどりを配置するなど、環境に配慮した道路整備を行います。道路の完成時期に合わせて大二中の校舎等を建替え、施設の更新と機能の拡充を図ります。補助第135号線の上部に人工地盤を設置し、道路整備と教育環境の調和を目指します。また、道路の高さを現況より低くするなど、人工地盤の高さの抑制に努めます。

### 補助第135号線の整備計画概要

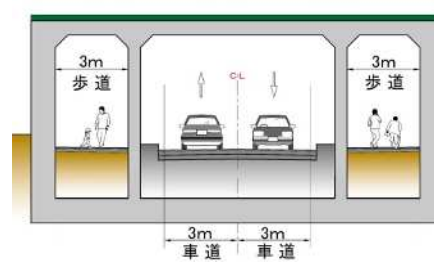
- 整備計画区間：大泉学園駅南側～富士街道間
- 計画延長：約1.2km
- 計画幅員：15m
- 断面構成：下図のとおり



### 標準断面図



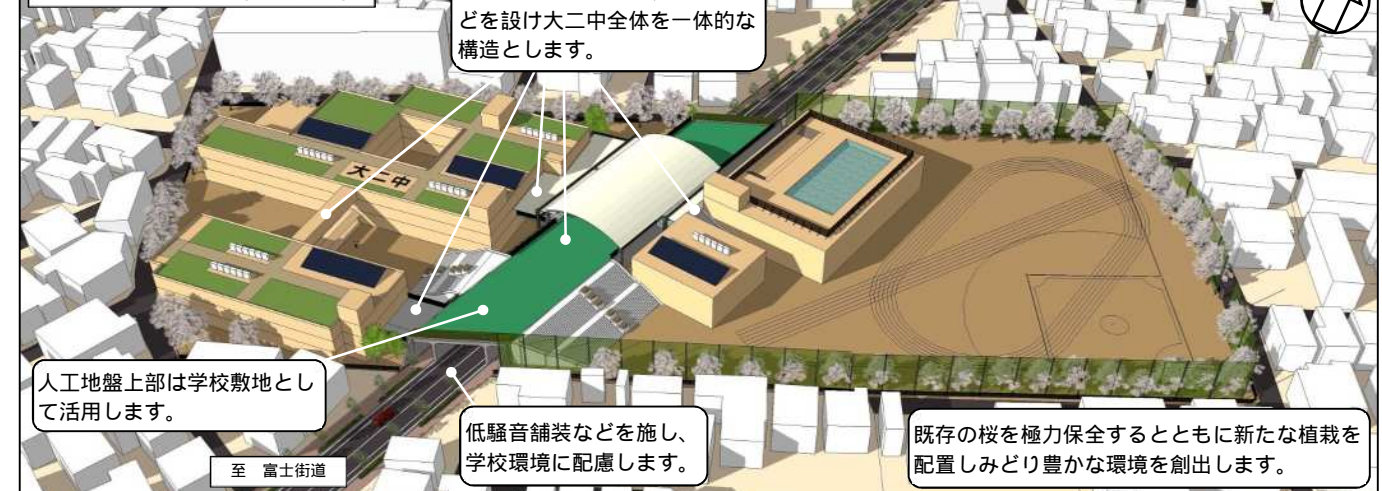
### 大二中付近の断面図



### 整備イメージ(大二中の平面図)



### 整備イメージ(パース)



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺1/2,500の地形図(道路網図)を使用して作成したものである。ただし、計画線は、都市計画道路の計画図から転記したものである。無断複製を禁ず。(承認番号)25都市基測第148号、平成25年10月23日